

工事概要

1 工事名称

2 工事場所

3 工期

現場施工期間

小鹿野小中学校体育館空調設備工事

秩父郡小鹿野町小鹿野146番地

契約日から令和年月日

令和年月日

4 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行 令別表第一	備考
① 体育館	RC造	地上2階	1140.66	(7)項	空調設備設置工事
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)

建物別及び屋外 工事種目	工事種別					
	①	②	③	④	⑤	屋外
● 空気調和設備	一 式					
○ 換気設備						
○ 排煙設備						
● 二次側配線設備	一 式					
○ 衛生器具設備						
● 給水設備	一 式					
○ 排水設備						
○ 給湯設備						
○ 消火設備						
○ 厨房機器設備						
● ガス設備	一 式					
○ 撤去工事						

6 指定部分

※無

・有

対象部分：

工期：令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期

請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲

図示のとおり

9 機械設備工事概要

空気調和設備	図示による冷暖房設備図の新設を行う
二次側配線設備	図示による二次側配線設備の新設を行う
給水設備	温水式ペーパーライザーへの給水供給を行う
ガス設備	プロパンガス供給設備 (貯蔵量980kg) の新設を行う (消火器を含む)

10 同時期発注の関連工事

・建築工事

・電気設備工事

1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督官の指示に従い施工する。

なお、営繕住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの別記共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。





(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

項 目		特 記 事 項		
①	機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aの1を含むもの有無を確認し、7Aの1を含む機材は、使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。		
2	電気保安技術者	・置く ・置かない		
③	施工条件	● 施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第9号）に定める行政機関の休日以外。 ○上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。		
④	技能士の適用	○配管施工（配管工事） ・ 建築板金施工（風道制作及び取付け） ・ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空調調和機器施工（冷凍空調機器の据付け）		
⑤	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び別記仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化水素イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状況に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。		
⑥	監督員事務所	本工事で ・ 設ける（規模 ） ※設けない		
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。		
⑧	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。		
⑨	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ・ できる ・ できない		
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ○ 本工事とする。		
⑪	建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ○構外搬出適切処理する。		
⑫	埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類		
⑬	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に ・ 使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に立立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。		
⑭	発生土の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・ 別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分をするもの（ ） （3）再生資源化を図るもの（ ・ 硬質塩化ビニル管 ・ ） （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。		
⑮	容量等の表示	（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。		
⑯	配 管	（1）地中埋設配管（排水管を除く） 1）地中埋設種（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・ 不要 2）地中埋設紙（キャットアイ） ※要（舗装部の分枝、曲部） ・ 不要 3）埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・ 不要		
⑰	耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震 K_h 及び設計用鉛直地震 K_v （ $K_h/2$ ）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。		
		設計用水平地震		
		耐震安全性の分類		
		設置場所		
		・ 特定の施設		
		○一般の施設		
		重要機器 一般機器 重要機器 一般機器		
		2.0 1.5 1.5 1.0		
		(2.0) (2.0) (2.0) (1.5)		
		<2.0> <1.5> <1.5> 1.0		
		1.5 1.0 1.0 0.6		
		(1.5) (1.5) (1.5) (1.0)		
		<1.5> <1.0> <1.0> <0.6>		
		1.0 0.6 0.6 0.4		
		(1.0) (1.0) (1.0) (0.6)		
		<1.5> <1.0> <1.0> <0.6>		
		(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階） 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器		
⑱	あと施工アンカー	機器、配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。		
課長	副課長	主幹	主査	担当
				〔株〕 一級建築 一級建築 埼玉県産

	空気調和設備工事の保温の種別					
	区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別			
	ド レ ン 管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ			
		機械室、書庫、倉庫	b・(リ)・Ⅶ			
		天井内、P S 内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ			
		浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ			
		蒸 気 管	屋内露出（一般居室、廊下）		A1・(イ)・Ⅱ	
		機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ			
	天 井 内、P S 内及び空隙壁中	C2・(イ)・Ⅱ				
		床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）		D・(イ)・Ⅱ		
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）		E3・(イ)・Ⅱ		
		冷 水 ・ 冷 温 水 管 （膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボ イラー等への補給 水管を含む。）		屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ	
		機械室、書庫、倉庫		B・(ハ)・Ⅲ		
		天井内、P 室内及び空隙壁中		C1・(ロ)・Ⅲ		
	床 下、暗 渠 内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・Ⅲ				
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）		E3・(ハ)・Ⅲ		
		温 水 管 （膨張管を含む。）		屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ロ)・Ⅰ	
		機械室、書庫、倉庫		B・(ロ)・Ⅰ		
		天井内、P S 内及び空隙壁中		C2・(ロ)・Ⅰ		
		床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）		D・(ロ)・Ⅰ		
	屋 外 露 出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(ロ)・Ⅰ				
		(注) １．冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製）・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー（※樹脂製）・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製 ２．施工種別 B の材料及び施工順序 4、5 に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 ３．機器類の保温材料の種別は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。				
		ダクトの保温の種別				
		区 分		施 工 箇 所	保 温 種 別	
		長方形ダクト		屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(ロ)・X I	
				屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(ロ)・X I	
屋内隠ぺい、D S 内	I・(ロ)・X I					
屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・(ロ)・X I					
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）		O1・(ロ)・X I			
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）		N・(ロ)・X I			
	屋内隠ぺい、D S 内	N・(ロ)・X I				
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・(ロ)・X I				
	消音内貼り	サブライチャンパー	M・(ロ)・IX			
		消音チャンパー・消音エルボ	L・(ロ)・VII			
(注) １．厨房ダクトの保温材は、管轄消防の規則を確認の上、選定すること。						
給排水衛生設備工事の保温の種別						
	区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別			
	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ			
		機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ			
		天井内	c2・(ロ)・Ⅶ			
		P S 内及び空隙壁中	—			
		県営住宅 P S 内	c2・(ハ)・Ⅶ			
		床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	—			
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ			
	排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—			
		機械室、書庫、倉庫	—			
		天井内	c2・(ロ)・Ⅶ			
		P S 及び空隙壁中	—			
		屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	—			
		給湯管	屋内露出（一般居室、廊下）		a1・(ロ)・Ⅰ	
		膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボ イラー等への補給 水管を含む。）	機械室、書庫、倉庫		b・(ロ)・Ⅰ	
	天井内	c2・(ロ)・Ⅰ				
		P S 内及び空隙壁中		d・(ロ)・Ⅰ		
		屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）		e3・(ロ)・Ⅰ		
		(注) １．消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。 ２．排水管の管種が耐火二層管、耐火 V P の場合は、保温を要しない。 ３．施工種別 b の材料及び施工順序 3、4 に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 ４．機器類の保温材料の種別は、（※グラスウール ・ロックウール）とする。 ５．消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。 ６．便所内露出 SUS 管及び流し内露出 SUS 管は保温を要しない。 ７．空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則として F☆☆☆☆ とする。 ※屋外露出給水管（呼び径 20 以下のみ）は、保温厚 40mm の防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚さを 40mm とする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。				
⑬ 防 凍 保 温						
⑭ 塗 装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。（屋外ドレン管 SGP（白）管に特約） また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。					
⑮ 電 線	特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。					
新日本設計						
事務所登録（８）第1861号 登録第1713号（〒350松崎峠夫 印前町3丁目28番15 TEL 049(285)1411 (代)		所 長 松崎	設計本部長 藤村	設計担当 深野		

施工アンカー打設	図面に明示する箇所について走査式埋設物調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合には、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。	
②③ 管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車庫道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。	
②④ 既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。	
25 絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ	
26 他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期まで、に必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。	
②⑦ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。	
②⑧ 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。	
②⑨ 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。	
③⑩ 墮落制止用器具(フルハネ型)	※使用を要する 墮落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による ・使用を要しない	
③⑪ 誘導電動機	三相誘導電動機はJIS C 4213(IE3)トップランナーモーターとする。	
③⑫ 完成図書 の 電子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ※適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。	
33 そ の 他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。	
① 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。	
② 改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・ 枠組足場 ・ (2) 外部足場 ※A種(枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)の手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。	
③ 既存部分養生・既存家具等養生	(1) 関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート ・ 合板 ・	
④ 備品等の移動	○別途工事 ・ 本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事	
5 仮設間仕切り	(1) 関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ・ A種 ・ B種 ・ C種	
⑥ 撤去後機材の扱い	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、manifestoを監督員に提出する。	
⑦ 支持金物の再使用	(1) インサート金物 ・ インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・ 再使用できる ※新品	
⑧ あと施工アンカーの種別	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。	
9 フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・ フロン再生後引き渡し ・ 未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。	
⑩ 総 合 調 整	・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整	
11 既設基礎礎の解体はつ	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。	
12 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。	
⑬ そ の 他	(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。	
【小野中学校第二体育館】 2024.12		
設計年度	工事名称 小野小中学校体育館空調設備工事	図面番号
令和7年度	図面名称 機械設備工事特記仕様書(1)	縮尺 S=NS(A1) S=NS(A3)
		M-O 1

備考	課長	副課長		主幹	主査	担当	 <div>〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市御折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411(代)</div>	所長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称	図面番号	
											令和7年度	小鹿野小中学校校体育館空調設備工事		
												図面名称	縮尺	S-NS(A1) S-NS(A3)

		(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せし設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時期外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財) 日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時期取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。		標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R 4 1 0 A、R 3 2 又はR 4 0 7 G) (注 1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注 2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆配管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	11 擬音装置 12 そ の 他	トイレブースに設置する。 衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット 4 排の適用 別紙樹表による。				
●空気調和設備	① 設計温度	外 気 温度 (DB) 湿度 (RH) 一般系統 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 期 37.1℃ 47.1% 28℃ %℃ %℃ %℃ % 冬 期 0.5℃ 49.4% 20℃ %℃ %℃ %℃ % ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	○換気設備	1 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	●給水設備	① 配管材料 配管材料は、※下記 ○図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※SUS ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS 地中埋設部 (水道直結部分) ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ 地中埋設部 (一般部分) ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ 県営住宅 住戸内 ※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管 便所天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 湿潤シンダー内配管 ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS 地中埋設部 (一般部分) ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・ 便所天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 (注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・グランド) ※配管 便所・廊下走り廻り露出配管 (※配管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。	○給湯設備 2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 4 ガス瞬間沸湯器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。	○消火設備 1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設・SGP-VS ・H I V P ※高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設・SGP-VS ・H I V P ※高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80 2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))	●ガス設備 ① 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ○液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※ガス用PE管 2 漏洩検知装置 漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。	○厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
	② 総合試運転調整	※本工事 ・別産 風量調整 ※する ○しない 水量調整 ※する ※しない 騒音の測定 ※する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ※しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ※しない 3 煙 道 (1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない 4 煙 突 ※別途 ・本工事 5 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分) 6 円形ダクト ※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。 7 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト 8 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 9 吹出口及び吸込口ボックス ※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製 10 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) ⑪ 配管材料 (1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※硬質塩化ビニル管V P (カラー) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (100mm相当品) ・耐火二層管V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・ 14 圧 力 計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・ 15 瞬間流量計 瞬間流量計はビト管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 16 油面制御装置 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 17 冷却塔 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	○排水設備 1 ダ ク ト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。 ○二次側配線 1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 1 小便器用節水装置 JIS B 2061 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。 2 バリアフリー対応 ・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ・スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・斜斜鏡 (照明無 ・照明付) 3 衛生器具付風水栓 (1) 器具付風止水栓は ※ドライパー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。 4 自動水栓類の電源 ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 5 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電 6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。 7 掃除用 ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。 8 排水器具用「L」継手 ※使用できる ・使用できない 9 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 10 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。	○給湯設備 1 ダ ク ト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。 ○二次側配線 1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 1 小便器用節水装置 JIS B 2061 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。 2 バリアフリー対応 ・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ・スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・斜斜鏡 (照明無 ・照明付) 3 衛生器具付風水栓 (1) 器具付風止水栓は ※ドライパー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。 4 自動水栓類の電源 ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 5 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電 6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。 7 掃除用 ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。 8 排水器具用「L」継手 ※使用できる ・使用できない 9 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 10 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。			○排水設備 1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※SGP (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (FDP8-1) 又は耐火V P ・SGP (白) その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (FDP8-1) 又は耐火V P ・排水用「ハ」形 砂塗装鋼管 その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ※REP-V U (軽重量の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (FDP8-1) 又は耐火V P ・SGP (白) その他の部分 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2・1・2・6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。 3 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。 5 量水器 4 量 水 器 ※親メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※貸し取り ・) ※水道事業者指定品 ・標準図MC形 6 弁 類 規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。 7 水 栓 柱 ・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓 8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c)) 9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。 10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。 11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。	○排水設備 1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※SGP (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (FDP8-1) 又は耐火V P ・SGP (白) その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗室内 (ビット内、共同溝を含む。) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (FDP8-1) 又は耐火V P ・排水用「ハ」形 砂塗装鋼管 その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ※REP-V U (軽重量の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (FDP8-1) 又は耐火V P ・SGP (白) その他の部分 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2・1・2・6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。		
備 考	課長	副課長	主幹	主査	担当	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事	図面番号 M-02
						松 崎	藤 村	深 野	令和7年度	図面名称 機械設備工事特記仕様書 (2)	縮尺 S=NS (A1) S=NS (A3)

機 器 表

	名 称	仕 様	電 力 (参考)			数量	設置場所	備 考
			Φ	V	kW			
GHP-1A	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷暖切替形 2台連結形 臭気低減機能付 R410A				1	屋外	参考型番 U-GWH710UD1
	(室外機)	冷房能力 71.0 KW 暖房能力 80.0 KW						参考外形寸法 1650×880×2228H
		ガス消費量 冷房時 63.3 KW 暖房時 59.3 KW (プロパンガス)						参考質量 735kg
		送風機	3	200	0.75×2			28.58φ×15.88φ
		消費電力 冷房時 1.51 KW 暖房時 0.775 KW						
		付属品 ゴムパッド、ドレン用ホース (0.5m程度×2)、その他標準品一式						
GHP-1B	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷暖切替形 2台連結形 臭気低減機能付 R410A				1	屋外	参考型番 U-GWH450UD1
	(室外機)	冷房能力 45.0 KW 暖房能力 50.0 KW						参考外形寸法 1650×880×2228H
		ガス消費量 冷房時 36.4 KW 暖房時 34.9 KW (都市ガス13A)						参考質量 600kg
		送風機	3	200	0.75×2			28.58φ×12.7φ
		消費電力 冷房時 1.14 KW 暖房時 0.51 KW						
		付属品 ゴムパッド、ドレン用ホース (0.5m程度×2)、その他標準品一式						
GHP-1-1	ガスヒートポンプマルチエアコン	天吊形				8	アリーナ	参考型番 S-G140TU1
	(室内機)	冷房能力 14.0 KW 暖房能力 16.0 KW						参考外形寸法 1590×690×235H
		送風機	1	200	117W			参考質量 40kg
		付属品 ワイヤードリモコン、標準フィルター、その他標準品一式						15.88φ×9.52φ
QR-1	集中リモコン	カラー液晶モニタータッチパネル式 (室内機ごとの単独運転・設定可能)	1	100/200	0.1	1	アリーナ	
		運転停止、温度設定、スケジュール運転管理、その他標準機能一式						
		付属品 アプリケーション、電源供給ユニット						
BT-1	LPG/バルク貯蔵タンク	地上式 縦型貯蔵量 980kg				1	屋外	
		温水式強制気化装置 最大発生能力 30kg/h						
		圧力調整器、安全弁、ガス漏れ警報器、2点式液面外部警報装置内蔵						
		警戒標識、消火器ABC10型1本、消火器収納箱とも						
VR-1	温水循環式蒸発器	屋外壁掛型 加熱能力 12.1kW (LPG 14.5kW 1.04kg/h)	1	100	0.1	1	屋外	
		循環ポンプ内蔵、バルクタンク制御盤よりの自動運転						
		温水配管 (凍結防止自動運転) 往復20A、連絡配線とも						
	防球ガード(A)	天吊形室内機用 底面屏形 鋼製				8	アリーナ	寸法は参考とし 採用メーカー室内機に 合致するものとする
		参考寸法 1800 L × 800 D × 350 H						
		付属品 取付金具、その他標準品一式						

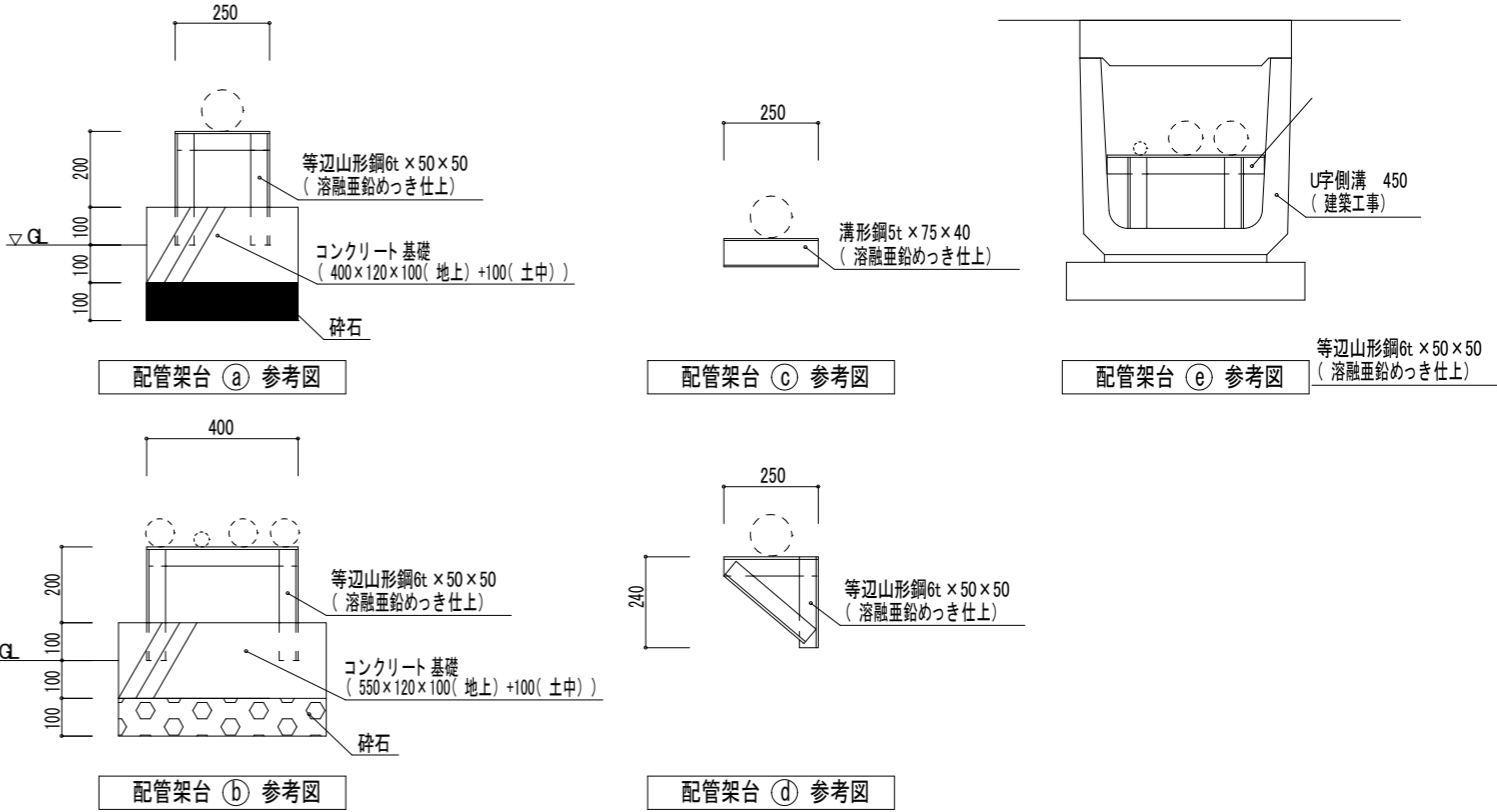
機 器 表 (つづき)

	名 称	仕 様	電 力 (参考)			数量	設置場所	備 考
			Φ	V	kW			
	防球ガード(B)	天吊形室内機上面用 鋼製 室内機吊用ブラケット共				8	アリーナ	寸法は参考とし 採用メーカー室内機に 合致するものとする
		参考寸法 1800 L × 800 D × 300 H						
		付属品 取付金具、その他標準品一式						


ガスヒートポンプマルチエアコン室外機の2台連結について機器表内能力の組み合わせができない場合は、機器製作者の組み合わせ可能であり、かつ、能力を満たす組み合わせとする

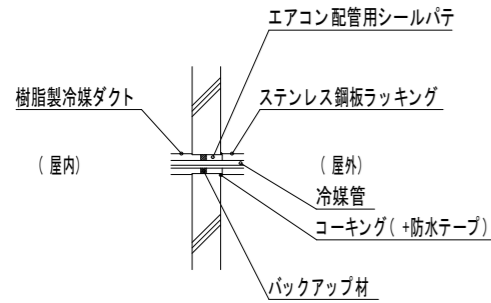
凡 例

記 号	名 称	区分	材 料	継 手	備 考
—— R ——	冷媒管	共通	断熱材被覆銅管 JIS H 3300 (原管)	銅および銅合金の管継手 JIS H 3401	ガス管 (保温厚20mm) 液管 (保温厚10mm)
—— D ——	ドレン管	屋内一般	保温機能付きドレンパイプ	保温機能付きドレンパイプ用継手	
		屋外露出	配管用炭素銅鋼管 (白) JIS G 3452	排水用ねじ込み式鋳鉄製管継手 JPF DF 001	
		土中	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 JIS K 6739	
		室外機ドレン	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP) JIS K 6776	排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 JIS K 6739	
—— PG ——	プロパンガス管	屋外露出	ガス用合成樹脂被覆銅管 (VL)		
		土中	ガス用ポリエチレン管 (PE)		
—— W ——	給水管	屋外露出	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (H1VP) JIS K 6742	水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 JIS K 6743	
		土中	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (H1VP) JIS K 6742	水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 JIS K 6743	
—— HS ——	温水管 (往)	屋外露出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448	プレス接合 SAS 322	
—— HR ——	温水管 (還)	屋外露出	一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448	プレス接合 SAS 322	

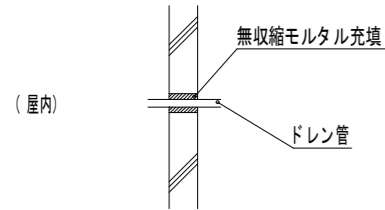


【小鹿野中学校第二体育館】

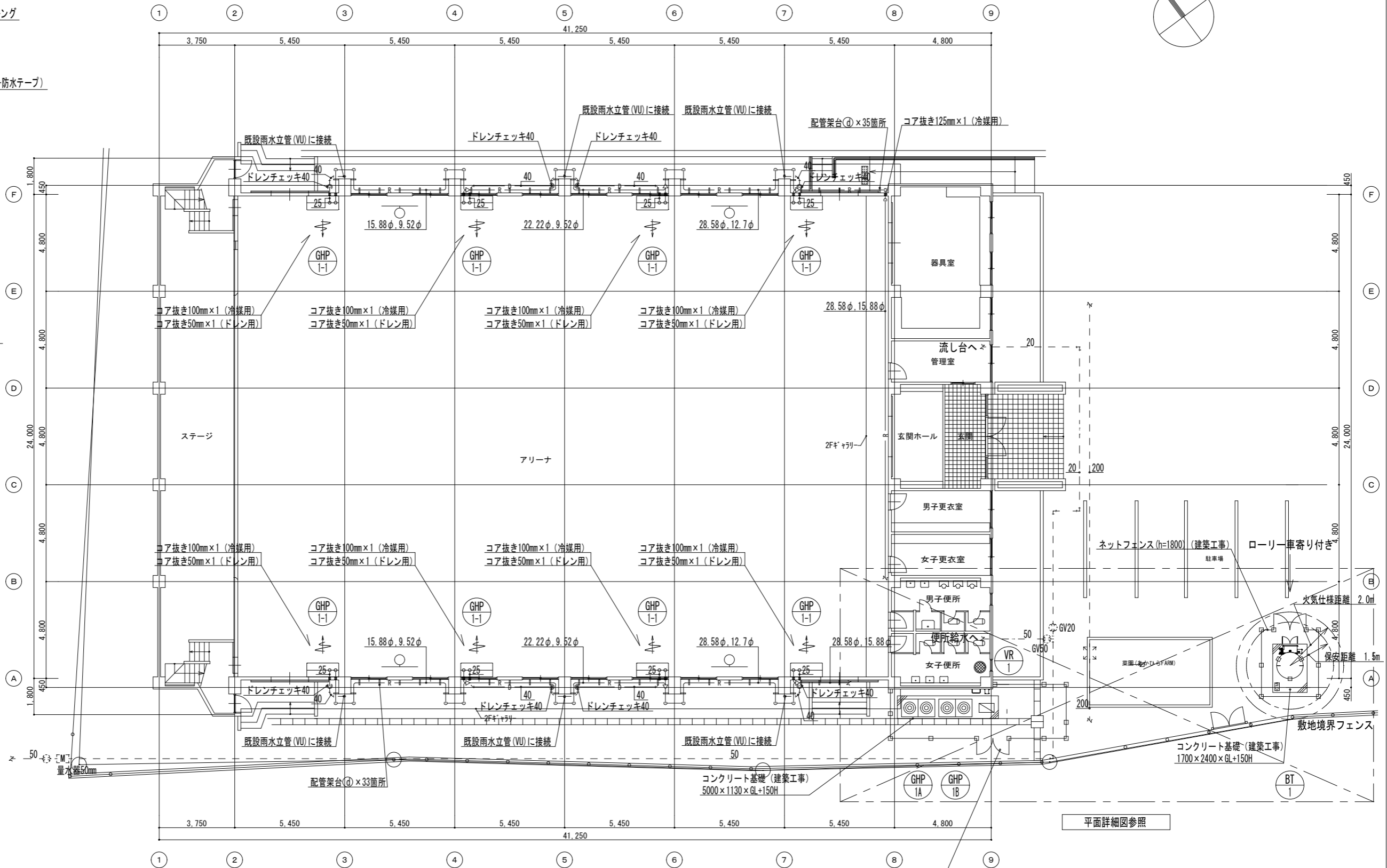
備 考	課長	副課長		主幹	主査	担当		所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称			図面番号
								（松崎）	（藤村）	（深野）	令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事		M-O 3	
												図面名称			
												空気調和設備 機器表・凡例・参考図		縮尺	S=NS(A1) S=NS(A3)



冷媒配管外壁貫通部処理参考図



ドレン配管外壁貫通部処理参考図



平面詳細図参照

配管架台の寸法、設置場所等において現地状況により変更してよい
屋外露出部の冷媒管外装はガルバニウム鋼板ラッキングとする
防球ガード内以外の屋内露出部の冷媒管外装は樹脂製冷媒ダクトとする
ドレン管にはドレンチェックを設ける

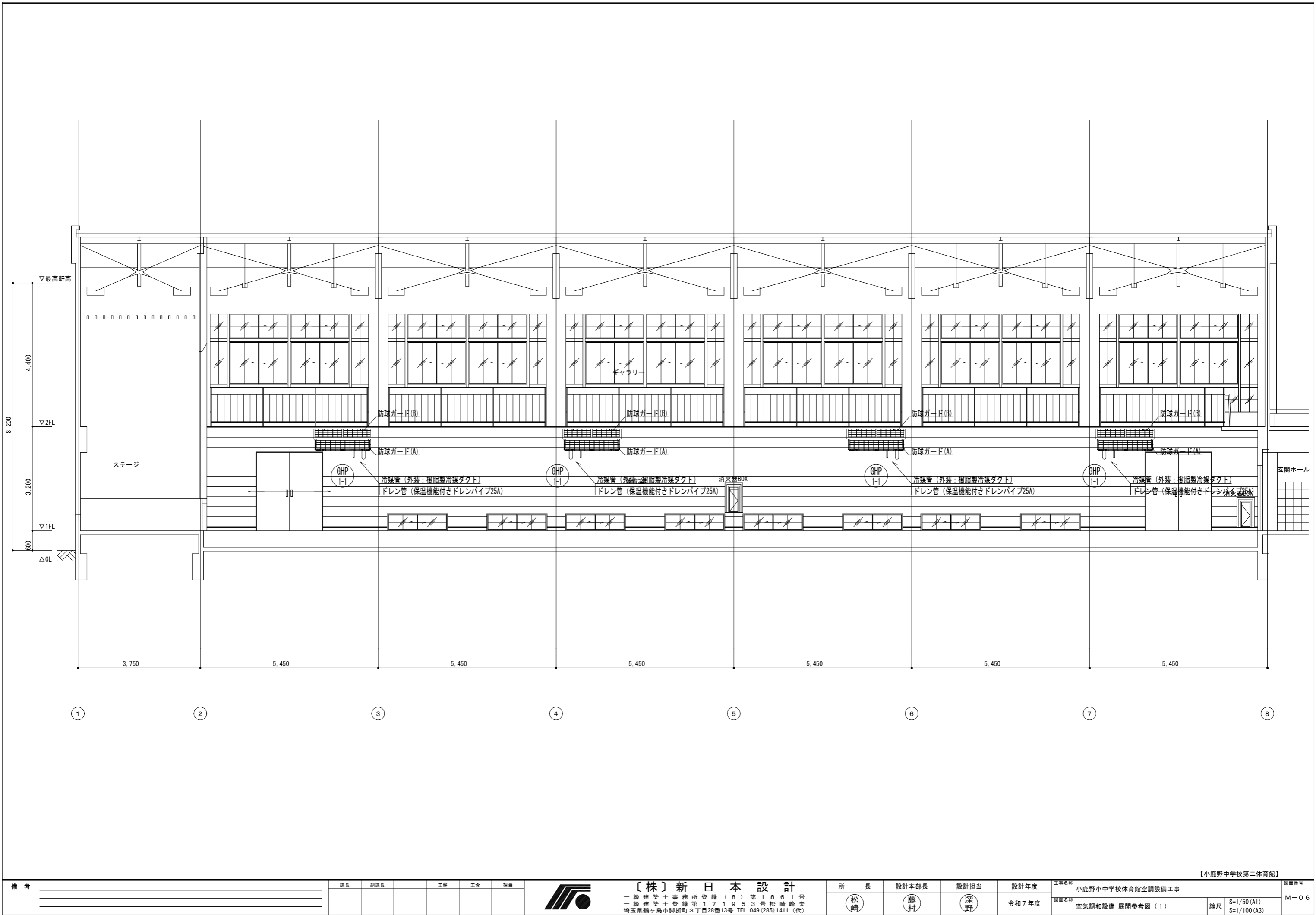
備 考						【小鹿野中学校第二体育館】						図面番号	
						課長	副課長	主幹	主査	担当		工事名称	
												小鹿野小中学校体育館空調設備工事	
												図面名称	
												空調設備 1階平面図	
												縮尺	
												S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)	
												M-O 4	




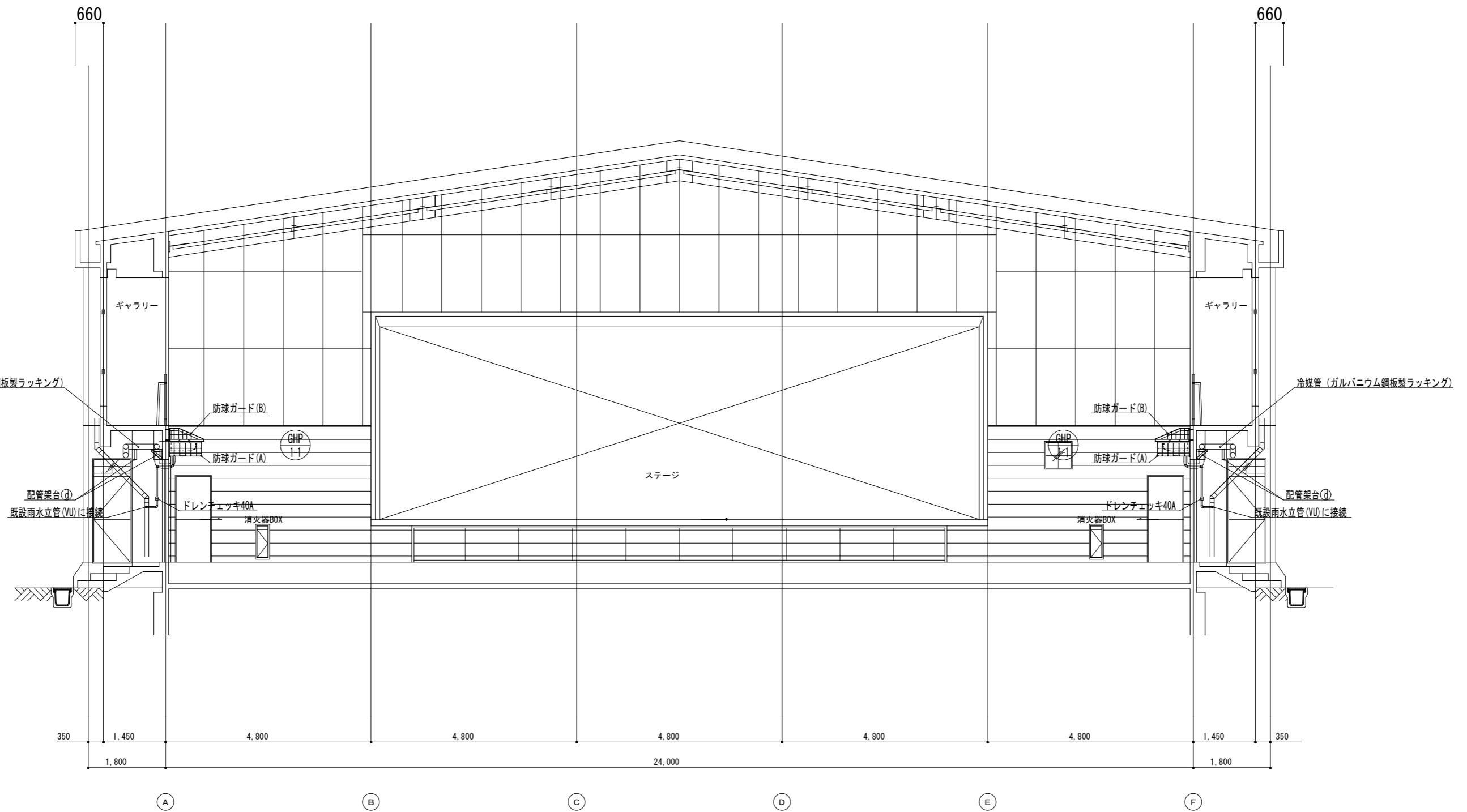
〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)

所 長	設計本部長	設計担当	設計年度
松崎	藤村	深野	令和7年度


工事名称	小鹿野小中学校体育館空調設備工事
図面名称	空調設備 1階平面図
縮尺	S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)

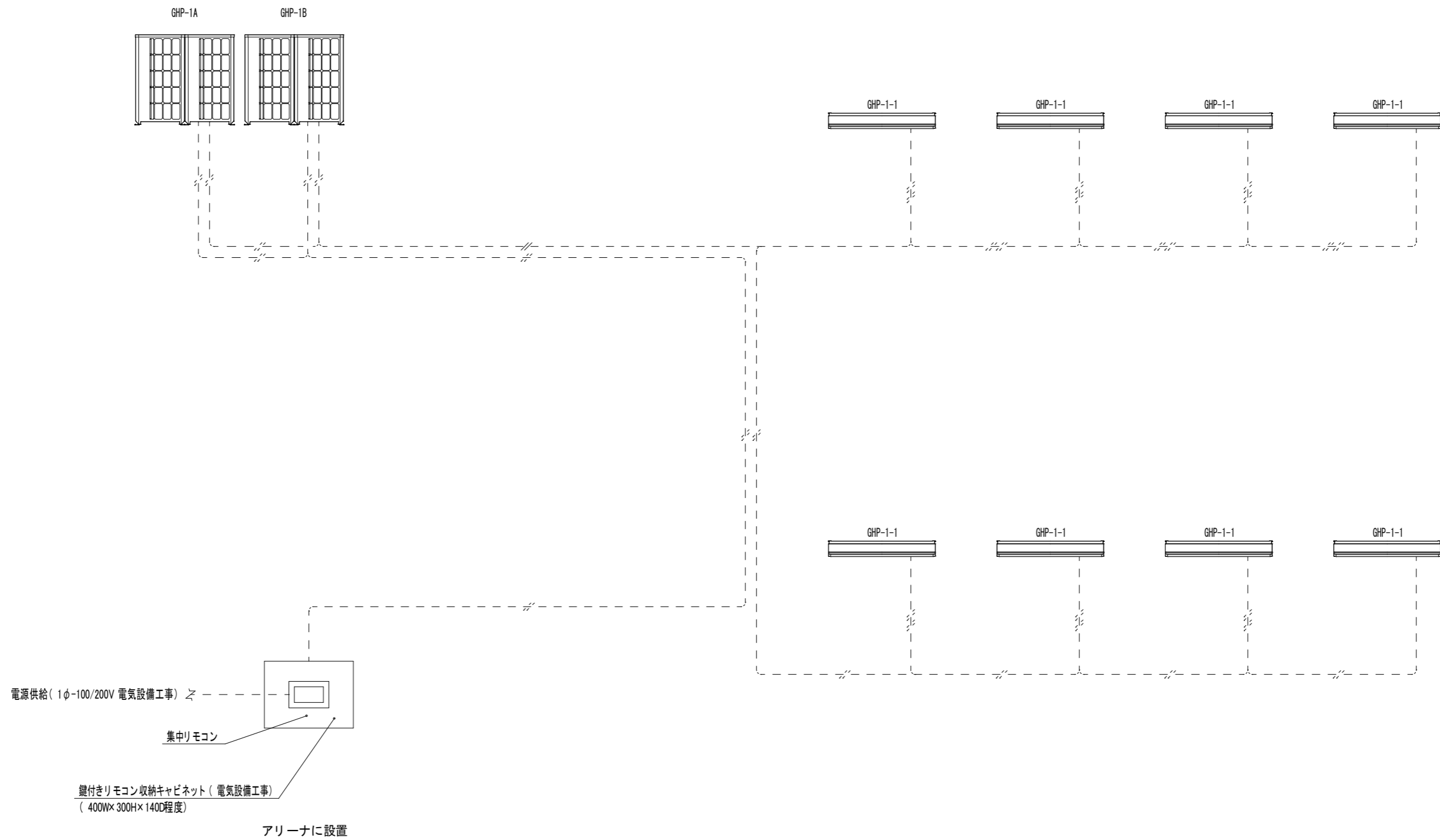


【小鹿野中学校第二体育館】																	
備 考	課長	副課長		主幹	主査	担当	 <div>〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録（８）第１８６１号 一級建築士登録第１７１９５３号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町３丁目28番13号 TEL 049 (285) 1411 (代)</div>	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事				図面番号 M-06	
								松崎	藤村	深野	令和7年度	図面名称 空気調和設備 展開参考図（１）		縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)			




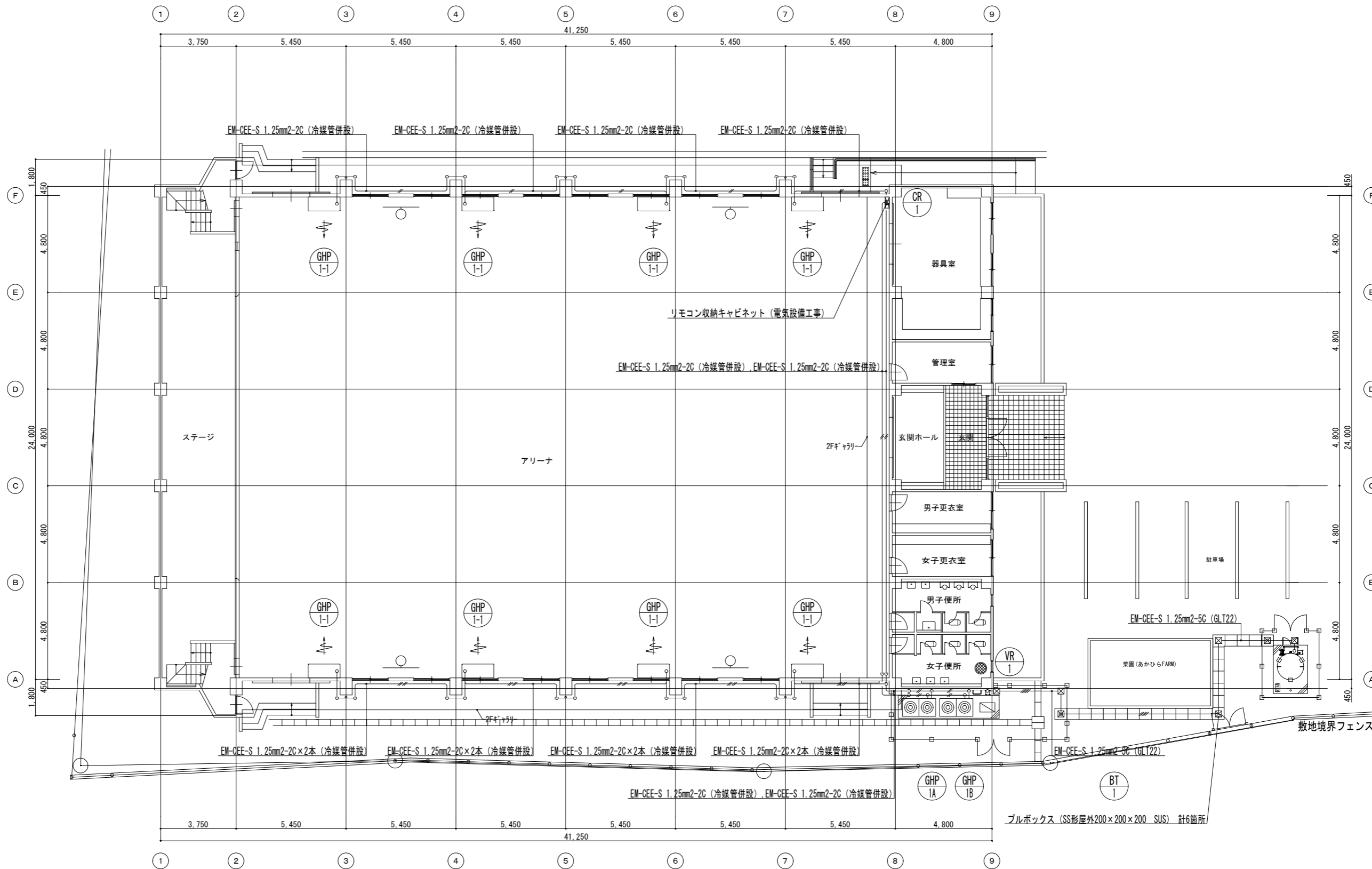
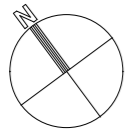
【小鹿野中学校第二体育館】

備 考								〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)	所 長 松崎	設計本部長 藤村	設計担当 深野	設計年度 令和7年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号 M-07						
													図面名称 空調設備 展開参考図(2)									
													縮尺	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)								



【小鹿野中学校第二体育館】

備 考								〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号 M-08
									松崎	藤村	深野	令和7年度	図面名称 空調調和設備 機器表・凡例・参考図			
													縮尺	S=NS(A1) S=NS(A3)		



ケーブル仕様は参考とし、製作者標準仕様としてよい

【小鹿野中学校第二体育館】

備 考	

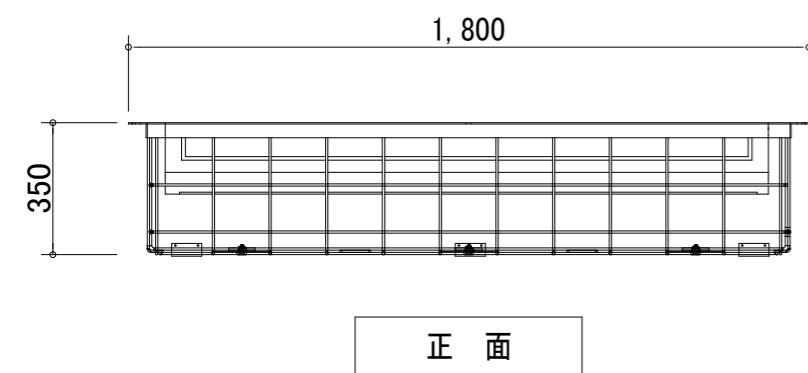
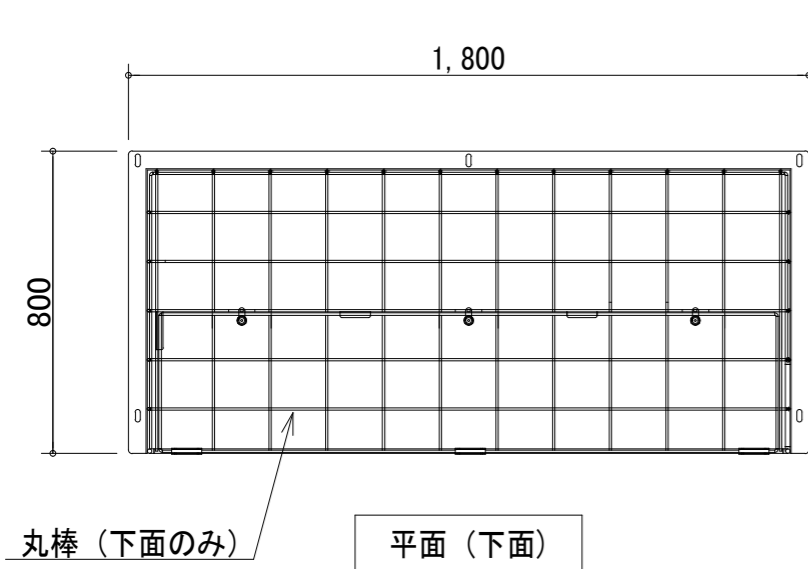
課長	副課長	主幹	主査	担当



〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)

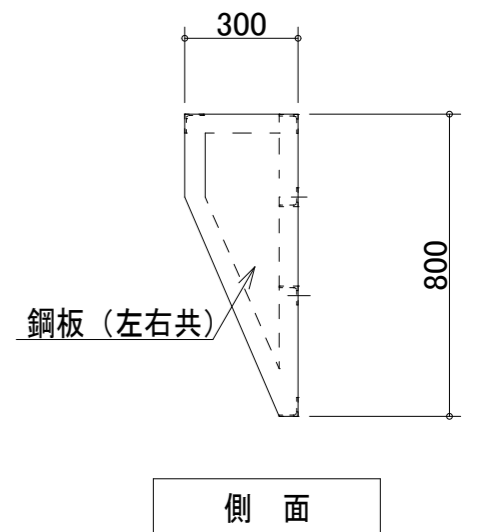
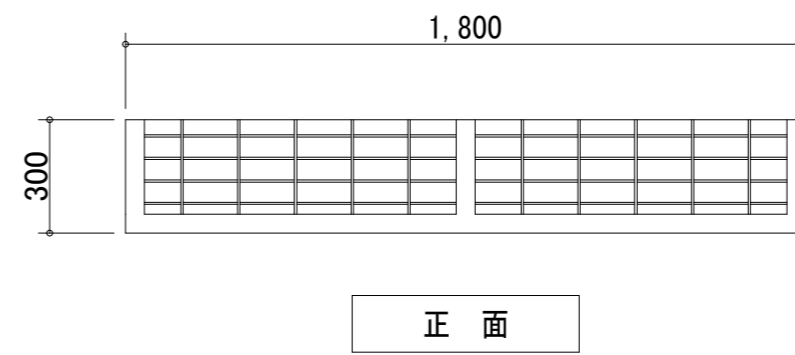
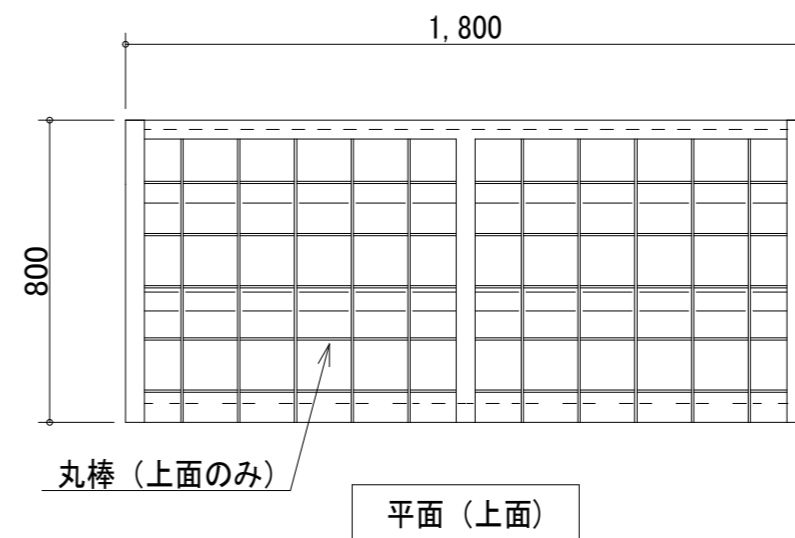
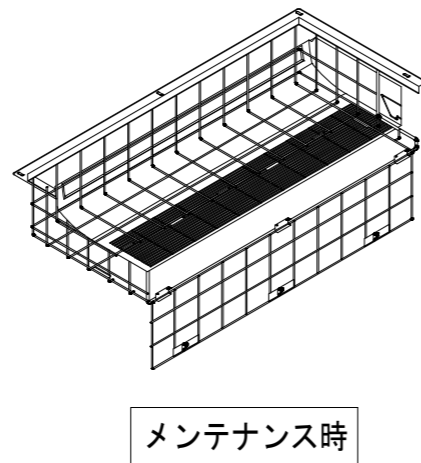
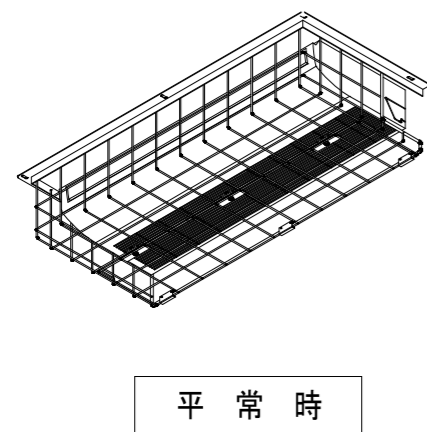
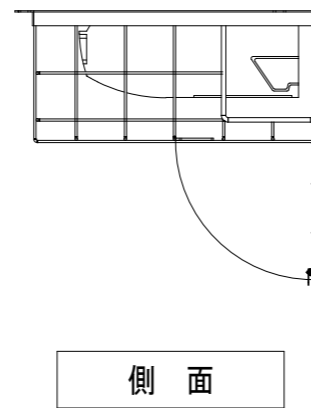
所 長	設計本部長	設計担当	設計年度
松崎	藤村	深野	令和7年度

工事名称	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	図面番号	M-09
図面名称	二次側配線設備 1階平面図	縮尺	S=1/100(A1) S=1/200(A3)



防球ガード(A)仕様

材 質	SS400 t=3.2mm
	SS400 t=2.3mm
	SS400 t=6.0mm
	丸棒 φ6.0(一部φ12)
仕 上	2.5Y9/1 (半艶焼付塗装)
備 考	KGG-1835T-CR(参考型番)



防球ガード(B)仕様

材 質	フレーム L 50×50×4
	丸棒 φ6.0
	鋼板 1.6 t
仕 上	2.5Y9/1 (半艶焼付塗装)

【小鹿野中学校第二体育館】

備 考	

課長	副課長	主幹	主査	担当



〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)

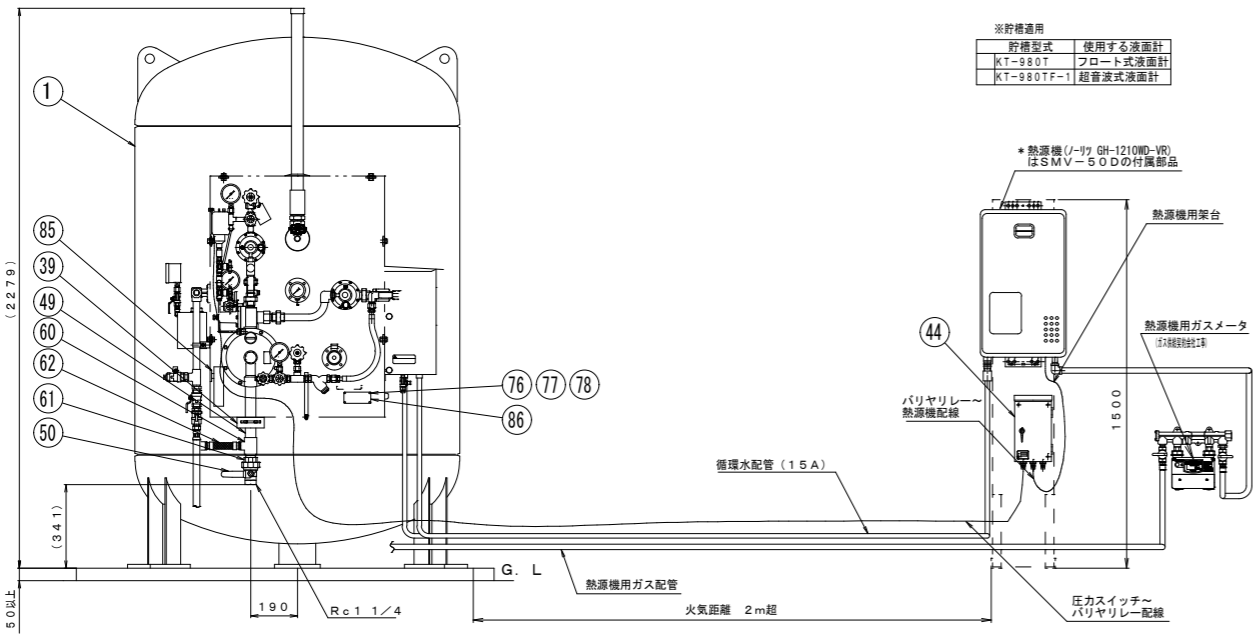
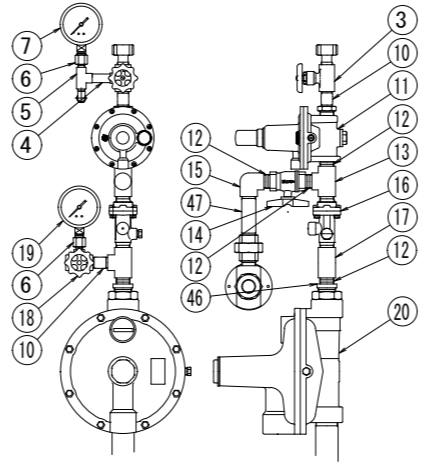
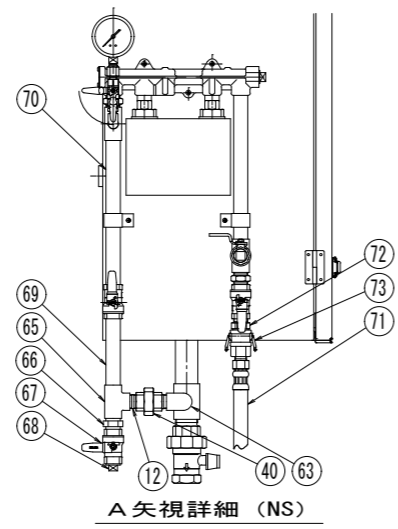
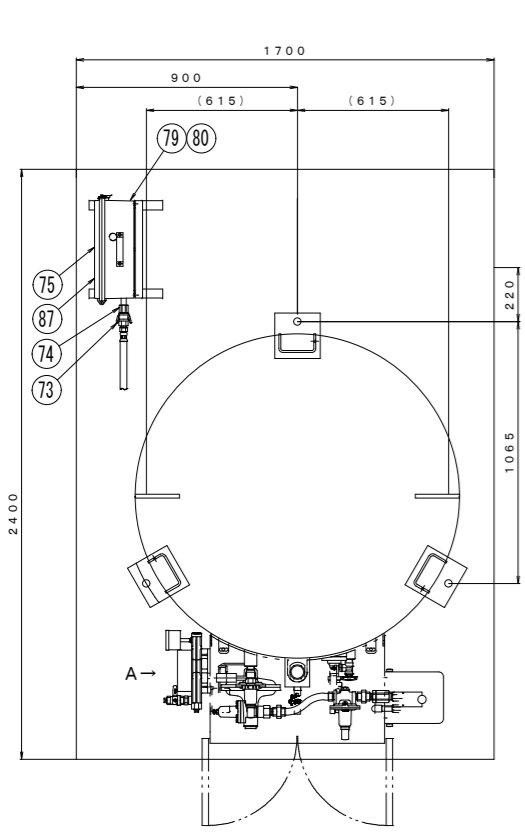
所 長	設計本部長	設計担当	設計年度
松崎	藤村	深野	令和7年度

工事名称	小鹿野小中学校体育館空調設備工事
図面名称	空調調和設備 防球ガード参考図

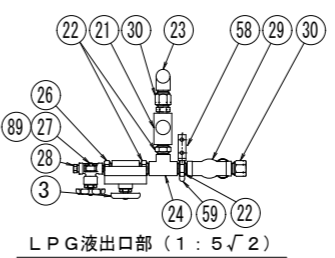
縮尺

S=NS(A1)
S=NS(A3)

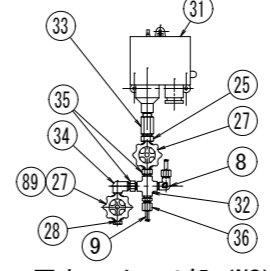
図面番号
M-10



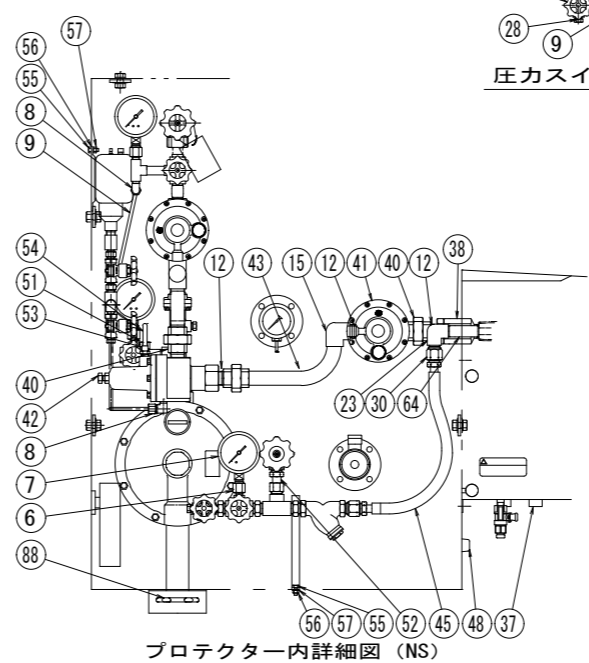
A 矢視詳細 (1/15)



LPG液出口部 (1:5√2)



圧カスイッチ部 (NS)



プロテクター内詳細図 (NS)

89	常時閉プレート	2	—	ユニット側 855-24 φ30 赤	67	ボールバルブ	1	C3771B他	GTM (20A)
88	Uボルト (ナット・平座金付)	1	SUS304	5/16×32A	66	六角ニップル	1	FCMB	20A
87	ITOシール	1	テトロン		65	ティ	1	FCMB	20A
86	銘板	1	A1100P		64	ロングニップル	1	SUS304TP	15A Sch80 L=80
85	ガス漏れ検知器	1	—	XH-611EB	63	エルボ	1	FCMB	20A
84					62	フレキ管	1	SUS304他	20A L=170
83					61	オスメスユニオン	1	FCMB	32A
82					60	径違いティ	1	FCMB	32A×32A×20A
81					59	Uボルト (ナット・平座金付)	1	SUS304	M6×15A
80	平座金	2	SUS304	JIS 8 並形	58	架台	1	SUS304	
79	ちょうナット	2	SUS304	JIS M8	57	六角ナット	5	SUS304	JIS 1種 M6
78	平座金	4	SUS304	JIS 4 並形	56	平座金	5	SUS304	JIS 並形 6 (D12 t1.6)
77	六角ナット	4	SUS304	JIS M4 1種	55	六角ボルト	5	SUS304	JIS M6×15
76	十字穴付きなべ小ねじ	4	SUS304	JIS M4×10	54	銅管	—	C1220T	φ8
75	ガス栓ボックス	1	ABS他	EBS-BOX-J-01	53	防虫網	1	PA6	
74	雌ネジアダプター	1	アルミ	75-A (20A) (杉田バルブ工業株)	52	バルク用POL継手	1	C3604B他	
73	雌ネジカブラ	2	アルミ	D-37F4 (20A) (杉田バルブ工業株)	51	銅管継手 (ストレート)	1	C3771B	コ-3- RMC 08828
72	雄ネジアダプター	1	アルミ	75-F (20A) (杉田バルブ工業株)	50	ユニオン式ボールバルブ	1	C3771B他	BV-32U (32A)
71	低圧ホース	1	—	LP-19×2500L 0.1=0.1 黒十川ゴム	49	ロングニップル	1	SGP	32A L=260
70	ガスメーターユニット	1	—	EBS-UNIT-J-01	48	ストッパー	1	ゴム他	φ24×15 (M6φナット付)
69	ロングニップル	1	SGP	20A L=150	47	ロングニップル	1	SUS304TP	20A Sch80 L=100
68	プラグ	1	FCMB	20A	46	ブッシング	1	SUS304	25A×20A
45	高圧ホース	1	NBR他	BR-12-J L=600	45	高圧ホース	1	NBR他	BR-12-J L=600
44	熱源機運転リレーシステム	1	—	RS-2-J	44	熱源機運転リレーシステム	1	—	RS-2-J
43	中圧フレキ管	1	SUS304	BR-13-J L=300	43	中圧フレキ管	1	SUS304	BR-13-J L=300
42	気液切替弁	1	C3604B他	GLX-20-J	42	気液切替弁	1	C3604B他	GLX-20-J
41	二段式一次用調整器	1	ADC12他	BR-50AM-J-01 (入ロフッシュなし)	41	二段式一次用調整器	1	ADC12他	BR-50AM-J-01 (入ロフッシュなし)
40	オスメスユニオン	3	FCMB270	20A	40	オスメスユニオン	3	FCMB270	20A
39	架台A	1	SUS304	BR-2-1-J	39	架台A	1	SUS304	BR-2-1-J
38	流量カット弁	1	C3604B他	FCV-50S-J	38	流量カット弁	1	C3604B他	FCV-50S-J
37	温水循環式蒸発器	1	C3771B&SUS316L	SMV-50D-J	37	温水循環式蒸発器	1	C3771B&SUS316L	SMV-50D-J
36	銅管継手 (ストレート)	1	C3771B	コ-3- RMC 06828	36	銅管継手 (ストレート)	1	C3771B	コ-3- RMC 06828
35	六角ニップル	2	C3604B	8A	35	六角ニップル	2	C3604B	8A
34	ストリートエルボ	1	C3771B	8A	34	ストリートエルボ	1	C3771B	8A
33	高圧六角ソケット	1	SUS304	10A	33	高圧六角ソケット	1	SUS304	10A
32	高圧クロス	1	SUS304	8A	32	高圧クロス	1	SUS304	8A
31	圧カスイッチ	1	SUS316他	SMC製ISG231-031	31	圧カスイッチ	1	SUS316他	SMC製ISG231-031
30	POL継手 (PC-215ソケット)	3	C3604B	15A	30	POL継手 (PC-215ソケット)	3	C3604B	15A
29	ストレーナ	1	SCS13A	KITZ製 UY 15A 200メッシュ	29	ストレーナ	1	SCS13A	KITZ製 UY 15A 200メッシュ
28	プラグ	2	C3604B	8A	28	プラグ	2	C3604B	8A
27	ストップバルブ	3	C3771B他	IV-206C-J	27	ストップバルブ	3	C3771B他	IV-206C-J
26	高圧径違いニップル	1	SUS304	8A×15A	26	高圧径違いニップル	1	SUS304	8A×15A
25	高圧径違いニップル	1	SUS304	8A×10A	25	高圧径違いニップル	1	SUS304	8A×10A
24	高圧ティ	1	SUS304	15A	24	高圧ティ	1	SUS304	15A
23	高圧エルボ	2	SUS304	15A	23	高圧エルボ	2	SUS304	15A
22	高圧ニップル	3	SUS304	15A	22	高圧ニップル	3	SUS304	15A
21	ガス放出防止器 (液用)	1	C3771B他	管入バルブ EXB-02-01-Q50	21	ガス放出防止器 (液用)	1	C3771B他	管入バルブ EXB-02-01-Q50
20	二段式二次用調整器	1	ADC12他	GL-50-2-J-02	20	二段式二次用調整器	1	ADC12他	GL-50-2-J-02
19	圧力計	1	—	AT3/8×φ75 (0.2MPa)	19	圧力計	1	—	AT3/8×φ75 (0.2MPa)
18	圧力計用バルブ	1	C3771B他	IV-256B (ER) -J	18	圧力計用バルブ	1	C3771B他	IV-256B (ER) -J
17	径違いティ	1	SUS304	20A×20A×15A	17	径違いティ	1	SUS304	20A×20A×15A
16	ガス放出防止器	1	C3771B	GDV-50	16	ガス放出防止器	1	C3771B	GDV-50
15	エルボ	2	SUS304	20A	15	エルボ	2	SUS304	20A
14	ボールバルブ	1	C3771B	KITZ400型TT (20A)	14	ボールバルブ	1	C3771B	KITZ400型TT (20A)
13	ティ	1	SUS304	20A	13	ティ	1	SUS304	20A
12	バレルニップル	8	SUS304	20A	12	バレルニップル	8	SUS304	20A
11	二段式一次用調整器	1	ADC12他	BR-50AM-J-01	11	二段式一次用調整器	1	ADC12他	BR-50AM-J-01
10	ロングニップル	2	SUS304	15A Sch80 L=50	10	ロングニップル	2	SUS304	15A Sch80 L=50
9	銅管	—	C1220T	φ6	9	銅管	—	C1220T	φ6
8	銅管継手 (エルボ)	3	C3771B	コ-3- RML 06828	8	銅管継手 (エルボ)	3	C3771B	コ-3- RML 06828
7	圧力計	2	—	AT3/8×φ75 (3.5MPa)	7	圧力計	2	—	AT3/8×φ75 (3.5MPa)
6	圧カレジャーサ	3	C3604B	8A	6	圧カレジャーサ	3	C3604B	8A
5	高圧ティ	1	SUS304	8A	5	高圧ティ	1	SUS304	8A
4	ロングニップル	1	SUS304TP	8A Sch80 L=50	4	ロングニップル	1	SUS304TP	8A Sch80 L=50
3	圧力計用バルブ	2	C3771B他	IV-256B-J	3	圧力計用バルブ	2	C3771B他	IV-256B-J
2					2				
1	バルク貯槽	1	SA516-70他※		1	バルク貯槽	1	SA516-70他※	
番号	部 品 名	数量	材 質	摘 要	番号	部 品 名	数量	材 質	摘 要